

講義名	心理学概論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	蜂屋 真		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	24054

主題と概要

まず、心理学の歴史、すなわち心理学の研究対象の変遷について講義する。次いで、発達に関してことばの発達と青年期の同一性の問題を、パーソナリティに関してパーソナリティの理論と心理テストについて講義する。さらに、臨床心理学の理論とカウンセリングなどについて講義する。最後に、動機、学習、記憶について論じる。

到達目標

心理学史、発達、パーソナリティ、適応の援助、動機、学習、記憶など、心理学の基礎的項目を理解している。

提出課題

授業の進行に従って、学生諸君に様々なレポートを書かせる。それを授業に反映し、活用する予定である。

評価の基準

何度かレポートを書かせるが、これをもって理解度試験とし、期末試験の結果と合わせて成績を評価する。成績の点数配分は、理解度試験(30%)、期末試験(70%)である。

履修にあたっての注意・助言他

授業は板書を中心に行われ、ノートを取ることが必要である。試験問題はノートから出題される。授業中出席チェックをかねたレポート作成を求めるが、これを予告なしにランダムに行う。従って、授業を欠席していると、単位取得が難しくなる。なお、教員免許(高校・公民)、認定心理士の取得をめざす諸君は、この授業を必ず履修しなければならない。教科書は基礎心理学の教科書と同一である。

教科書

人間理解の科学：心理学への招待	鈴木清編	ナカニシヤ出版 2000円

プリント資料及び参考文献

関連資料は授業中に配布する。

授業計画

1. 心理学とは：構成主義、行動主義、認知主義 (p.5~p.7)
2. 発達(1)：発達の原理、胎生期、乳児期、児童期 (p.67~p.83)
3. 発達(2)：音声知覚、喃語、内言、外言、自己中心語 (p.43~p.47)
4. 青年の心理(1)：青年期、身体的変化、発達課題 (p.73~p.79)
5. 青年の心理(2)：境界人、自我同一性の確立・拡散、モラトリアム期 (p.73~p.79)
6. パーソナリティ(1)：Y-G性格検査の実施・採点・解説 (p.84~p.93)
7. パーソナリティ(2)：類型論、特性論 (p.84~p.93)
8. パーソナリティ(3)：評定尺度法、質問紙法、作業検査法、投影法 (p.84~p.93)
9. 適応の援助(1)：ロジャース、フロイト、ユング、アドラー (p.94~p.108)
10. 適応の援助(2)：カウンセリング、精神分析、行動療法 (p.94~p.108)
11. 欲求と動機づけ(1)：生理的動機、内発的動機 (p.56~p.62)
12. 欲求と動機づけ(2)：社会的動機、動機の階層 (p.56~p.62)
13. 学習(1)：本能行動、比較行動学、刷り込み (p.13~p.19)
14. 学習(2)：学習行動、古典的条件づけ (p.32~p.37)
15. 記憶：感覚記憶、短期記憶、長期記憶 (p.47~p.55)

予習・復習

授業内容は、授業計画に付された教科書ページ箇所に対応する。予習として授業内容に対応する教科書の箇所を読んでおくこと。復習として教科書を活用し、さらに関連書籍を学習すること。

備考